

北空知地域医療介護確保推進協議会「地域包括ケアに携わる多職種合同研修会」

兼 第54回北空知介護支援専門員連絡協議会研修会

～「顔の見える関係」から「多職種協働」、そして「チーム北空知」へ～

○目的 北空知における地域包括ケアシステムの構築を目指して、地域の保健・医療・介護・福祉の関係機関・施設・事業所等において、患者や利用者、地域住民の支援に関わる多職種の関係職員が一堂に会し、互いの役割を確認・共有し、切れ目のない支援・サービスが提供される多職種連携の関係づくりを構築するための研修機会とする。

○日時 平成30年10月31日(水) 18:00～21:15

○場所 プラザホテル板倉 研修会：2階 青雲の間 交流会：1階：有明の間

《プログラム》

時間	内容
17:30	受付
18:00	開会 ・挨拶 北空知地域医療介護連携支援センター長 新居利英さん
18:05 (45分)	○研修会 (1)講演 「顔の見える多職種連携づくり～ケア・カフェの活動と効果～」 ・講師：ケア・カフェジャパン代表 阿部泰之さん(旭川医科大学病院緩和ケア診療部副部長)
18:50 (70分)	○研修会 (2)グループワーク(情報・意見交換) 「ケア・カフェ体験～自分の仕事・あなたの仕事～」 ・カフェ・マスター 白鳥洋平さん(ケア・カフェジャパン)
20:00	○研修会閉会 ・挨拶 北空知介護支援専門員連絡協議会副会長 中神宏司さん
20:05	休憩・会場移動
20:15 (60分)	○交流会(懇親会) 「飲みニケーション交歓～深めよう多職種連携づくり～」 ・コーディネーター 佐々木大樹さん(北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長)
21:15	閉会

《阿部泰之講師の紹介》

1972 年長野県生まれ。1999 年旭川医科大学卒業後、整形外科医として主に骨肉種など軟骨部腫瘍の診断・治療に従事。2005 年和歌山県立医科大学にて緩和ケア病棟に勤務。2006 年旭川医科大学病院緩和ケアチームを立ち上げ、同チーム専任医師となる。2007 年～2010 年には同大学精神科医師を兼任。2010 年から現職。

日本緩和医療学会代議員、日本サイコオンコロジー学会代議員、あさひかわ緩和ケアネットワーク発起人、構造構成医療研究会代表、医療者・介護者・福祉者のための「ケア・カフェ®」代表、プレゼンテーションクラブ「プレクラ！」代表など。絵本作家 <https://www.facebook.com/ehon.abeyasushi>
日本緩和医療学会緩和医療専門医、博士（医学）。

ケア・カフェ®について

ケア・カフェ®は、地域における医療介護福祉間の現場においてのバリアをなくし、顔の見える関係を創出するための方法論であり、構造構成理論を基盤にしながら、社会学や教育学の理論を背景にもち、方法としてワールド・カフェを継承して行われる取り組み。北海道旭川で開発され、その後全国に広がり、現在 41 都道府県、180 以上の地域で開催されている。 <https://www.carecafe-japan.com/>

主な著書・論文

- ・じぶんできめらって？（絵本）文芸社. 2013
 - ・万華鏡とサクラ（絵本）最新医学者. 2014
 - ・イタタタた（絵本）最新医学者. 2015
 - ・ナニコレ？痛み×構造構成主義 南江堂. 2016
 - ・技術 1 割のプレゼント 中外医学社. 2018
 - ・緩和医療薬学（分担執筆）江南堂. 2013
 - ・いのちの終わりにどうかかわるか（分担執筆）医学書院. 2017
 - ・「医療介護福祉の地域連携尺度」の開発. Palliative Care Research 2014;9:114-20
 - ・ケア・カフェ®が地域連携に与える影響－混合研究法を用いて－. Palliative Care Research 2015;10:134-40
- その他多数